

## 希学園 第409回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第409回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年6月14日実施)	<a href="https://vimeo.com/1201110684/ac69de0579">https://vimeo.com/1201110684/ac69de0579</a>

① 新聞  
② 少ない  
③ 父母

④ 用心  
⑤ 算出

「要心」も可

② 薪や炭  
2 A エ  
B ウ

3 a 人間  
b クマ  
c 里山

4 クマ  
つた

【完答】

5 I 2  
II 2

③ 1 ゴミ  
2 わ  
③ ぶ  
④ こ

3 A エ  
B イ  
C ア

4 ア

5 にらみ

配点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
＜計＞100点	

① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「新」を「親」としないように気をつけよう。②おくりがなも正しく書けるように覚えておこう。③「母」の三画目と四画目をつなげて「毎」の下側のようにならないように気をつけよう。④「用心」は、気をつけることである。「用」のたてぼうはよこぼうをつらぬいて最後に書く。⑤「算出」は計算をして数値を出すこと。

② 山崎晃司 監修 『につぼんのクマ』

1 次の段落に「薪や炭が燃料として使われなくなり、里山は放置されるようになった」とあった。燃料として使っていたものは「薪や炭」である。

2 A 前に「木が適度に切られていました」「焼畑や草地もつくりました」とあり、直後に「木々の減った里山の見通しがよくなり」とある。木を切ったり焼畑や草地をつくったりした結果木々が減ったので、結果がどうなったかをつづけるときに使う「すると」がはいる。

B 直前には「森林を切り開きました」とあり、直後には「広葉樹の森を針葉樹の森に植えかえました」とある。人間がおこなったことをならべているので、話をならべるときに使う「また」がはいる。

3 直後の文に「里山は人間が生活する場所と、クマが生息する地域とを隔てる土地」とある。「a」と出会うことをおそれ、「b」は「c」に近づこうとしました」とあるので、「c」には「里山」がはいる、「a」と「b」には「人間」と「クマ」のどちらかがはいる。「里山を管理するa」とあるので「a」に里山（＝人間の手が入った土地）を管理する「人間」が、「b」にクマがはいる。

4 「人間が活動範囲を広げたこと」や「森のなかのようすが変わったこと」が何の理由なのかと考えて前の文を見ると、「クマが街中に現れるようになったのは」とあった。里山の役割が失われたこと、人間が活動範囲を広げたこと、森のなかのようすが変わったことが「クマが街中に現れるようになった」ことの理由である。

5 I 「クマが人里に現れるようになった」原因は「かつて里山だった土地には木々が増え、クマと人を隔てていた里山の役割が失われ」たことであり、「人間が焼畑や草地をつくったことではない」。

II 「里山の役割が失われた」ことで「クマが食べ物を求めて住宅地に現れるようになった」のである。原因と結果の関係が反対になっている。

③ 楠 章子 『もみじさん、どうしたの?』

1 直後にある「お菓子のふくろ、アイスクリームの木のぼう、空のペットボトル」が、ちらかっている。①の具体例である。C の直後に「ちらかったゴミ」とあった。

2 ② 「しわざ」とは、行為のことである。よくないふるまいのことをいうことが多い。

③ 「つぶやく」とは、小さい声でひとりごとを言うことである。

④ 「にっこり」は、わらいかけるようすのことである。

3 A ベレーさんは「もみじ屋におったやろー」と「決めつけ」ているので、怒っているようすであるエがはいる。

B 直はベレーさんに言い返したいけれど、さらに怒られるのがこわいので「ぐっとだまって」いる。おびえたりがまんしたりするようすであるイがはいる。

C 直の幼なじみである実菜ちゃんは、直がゴミをちらかしたりするようすではないと知っているはずなので、ベレーさんの話を聞いておどろいてゴミと直を順に見ている。おどろいてようすであるアがはいる。

4 ほほえみをうかべることを「目を細める」という。ベレーさんは直がゴミをちらかしたと思っっているので、直にはずっと「するどい視線」をむけているが、自分がちらかしたわけではないゴミをいっしょにそうじしている実菜ちゃんにはやさしくほほえんでいるのである。

5 問4の解説にもある通り、ベレーさんは直にはきびしい目をむけている。「ながら」につながるようにさがそう。